

事業名	種豚改良		
予算区分	県単 (17,457千円)	担当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継続 (平成元年度～)	協力関係	
事業目的	優良な繁殖用種豚を選定し、パークシャー種の種子豚及び精液を生産・供給する。これにより、岡山県産豚及び「おかやま黒豚」(パークシャー種)の生産を推進して、岡山県の養豚振興を図る。		

○ 本年度事業のねらい

事業1 岡山県産豚の生産振興

(事業の内容)

種子豚譲渡及び精液譲渡

1 種子豚譲渡

パークシャー種子豚を生産し、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を県内生産者向けに安定的に供給する。

譲渡計画頭数 雄 5頭
雌 65頭 計：70頭

2 精液譲渡(パークシャー種)

原則として毎週2回(月曜と金曜)採精し、モデナ液で希釈して、宅急便で翌日、農場に届ける。

譲渡計画頭数 パークシャー種：1,000本

事業2 パークシャー種の改良

(事業の内容)

繁殖能力の向上及び産肉能力の向上

1 繁殖能力の向上

場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を(一社)日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、優良な後継豚を保留する。

農家に供給した種子豚の繁殖成績を調査し、繁殖能力を検証する。

2 産肉能力の向上

種子豚の日齢150日～180日における体重(増体)、背脂肪厚及びロース芯面積等を測定し、(一社)日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、優良な後継豚を保留する。

○ 前年度までの成果

事業1 令和元年度の岡山県産豚の生産振興

1 種子豚譲渡頭数

パークシャー種：雄 4頭 雌 90頭 計：94頭

2 精液譲渡本数

パークシャー種：1,588本、デュロック種：645本 計：2,233本

3 繁殖豚の更新

繁殖豚は、次のとおり22頭更新した。

パークシャー種：雄 6頭、雌 16頭

※国内における豚熱(CSF)蔓延により、パークシャー種、デュロック種の県外導入無し。

事業2 パークシャー種の改良

1 場内母豚の繁殖成績は、総産子数9.0(H30:9.4)頭、生存産子数7.5(8.3)頭、離乳頭数6.8(7.8)頭と低下し、受胎率78.0(87.7)％、死産率17.0(12.4)％、離乳事故率9.6(5.6)％も悪化している。

2 H30生産豚の種子豚、場内保留豚の超音波検査による産肉成績は、背脂肪厚1.95(H29:1.71)cm、ロース芯面積27.3(27.8)cm²で、背脂肪厚がやや増加する傾向にあった。

3 種子豚のフィールド調査を行っている農場で、導入豚の馴致期間を延長した結果、若齢豚での廃用件数が減少した(0～3産での廃用率：18.5%(H29出荷豚)→2.4%(H30出荷豚))。

種豚改良

—「おかやま黒豚」の生産振興—

畜産研究所



雄

能力評価



雌



採精

- ・繁殖用種子豚の供給
- ・液状精液の供給



おかやま黒豚繁殖用種子豚

おかやま黒豚生産農場



雌

フィールド調査



雄

子豚

人工採精



肥育

岡山県営食肉地方卸売市場